

世界 LNG 動向#105 2024 年 9 月

橋本裕*

はじめに

DOE (米連邦エネルギー省) は、8 月末、NFE Altamira FLNG 社による非 FTA (非自由貿易協定相手国) 向け LNG 輸出ライセンスを許可した。既に稼働開始済みプロジェクトで、メキシコ経由の再輸出、輸出許可期間を 5 年間に限定する特殊な事例であるが、1 月の DOE 非 FTA 輸出許可一時停止以降で初めての非 FTA 輸出承認となった。

一方 FERC (米連邦エネルギー規制委員会) は、8 月に連邦控訴審が手続き上の理由で FERC 承認を無効とした 2 件の LNG 輸出プロジェクトに関して、追加環境影響評価書 (EIS) 実施日程を公表した。両プロジェクトの最終許可決定期限が 2025 年 11 月となり、プロジェクト完成日程が遅延する可能性が高い。

カナダでは、西海岸最初の輸出プロジェクトとなる LNG Canada が、全体として建設は 95%以上を完了、引き続き 2025 年半ばのカーゴ出荷開始に向けて予定通り進んでいる。

パナマ運河に関して、LNG、LPG 輸送船舶を対象として、初めての長期枠競売手続き (LoTSA) により、2025 年のアクセスについて、競売が実施された。LoTSA は、LNG 輸送船舶をもっと勧誘することも考慮して設計された。

アジア各国企業の LNG 調達も、短期、中長期とも活発化している。フィリピン、ベトナムの LNG 買主はいずれもスポット LNG カーゴ調達の入札を実施している。TotalEnergies は、韓国で新規参入買主 Hyundai Chemical 向け年間 200,000 トンの LNG 販売 HOA (基本合意)、中国 CNOOC 向けの年間 125 万トンの SPA (売買契約) の 2034 年まで 5 年間の延長を発表した。

シンガポール Sembcorp Industries 社は、インドネシアからのパイプラインガスによる LNG 換算年間約 80 万トン相当、11 年間のガス購入契約を締結した。タイ PTT 社は、オマーン、ブルネイからそれぞれ LNG を購入する 5 年間の購入契約を相次いで締結した。アブダビ ADNOC 社は、インド Indian Oil 社向け LNG 年間 100 万トン、15 年間の販売に関する HOA を締結した。

豪 Woodside Energy 社は、JERA との間で日本向け LNG 長期供給に関する SPA を発表した。年間 40 万トンを 10 年間、DES (持ち届け) 条件で 2026 年 4 月より引き渡すもので、Woodside 社グローバルポートフォリオから調達されるものとしている。

* 資源・燃料・エネルギー安全保障ユニット

[アジア太平洋]

株式会社商船三井 (MOL) は、2024 年 9 月 13 日、Chevron Shipping Company と、MOL Enean Pte. Ltd. 社から Chevron Asia Pacific Shipping Pte. Ltd. 社へ長期傭船される新造 LNG 運搬船にウインドチャレンジャー風力補助推進システム 2 基を搭載することに合意したことを発表した。

川崎汽船株式会社は、2024 年 9 月 3 日、中国の招商局金陵船舶 (江苏) 有限公司にて建造中の、LNG を主燃料とする 7,000 台積み自動車専用船 "NEREUS HIGHWAY" が竣工し、川崎汽船に引き渡されたことを発表した。

TotalEnergies 社は、2024 年 9 月 24 日、韓国 HD Hyundai Chemical 社との間で、2027 年から 7 年間、年間 200,000 トンの LNG 引き渡し、価格はブレント・ヘンリーハブ両方に連動での HoA (基本合意) を発表した。

DNV は、2024 年 9 月 19 日、韓国の現代重工業 (HHI) の新規 LNG 輸送船舶設計について船舶適用一般承認 (GASA) を認定したことを発表した。特色のひとつは、カーゴタンク 4 基でなく 3 基の構成である。カーゴ容量を最大化しつつ、ポンプ塔・随伴超低温機器数を減らすことを意図したものである。

NBS (中华人民共和国国家统计局) によると、中国の 2024 年 1 - 8 月の天然ガス生産量は、163.7 bcm (1637 億 m³)、前年同期比 6.6%増となった。中国 NDRC (中华人民共和国国家发展和改革委员会) は、自国が同年 1 - 8 月、天然ガス 284.48 bcm (2844.8 億 m³) を消費、前年同期比 9.6%増となったことを明らかにした。中国の天然ガス輸入は、2024 年最初の 8 ヶ月間で前年同期比 12.3%増加の 8713 万トンとなった。この内 LNG は 5029 万トン、前年同期比 10.7%増、2021 年同期比 2.8%減であった。

TotalEnergies 社は、2024 年 9 月 19 日、中国向け、CNOOC との年間 125 万トンの LNG 引き渡しに関する SPA (売買契約) の 2034 年まで 5 年間延長を発表した。

フィリピン First Gen 社は、2024 年 9 月 4 日、1 カーゴの LNG を DES 条件で、First Gen Singapore 社を通じて、FGEN 社既存フィリピンのバタンガス First Gen Clean Energy 設備内のガス火力発電設備での利用に供するべく調達する入札を発表した。First Gen 社は、9 月 20 日、同 LNG カーゴ 1 件の契約を Shell Eastern LNG 社に発注したことを発表した。引き渡しは 10 月 14 - 18 日に到着見込み。本件は First Gen 社 7 件目の入札だった。

フィリピン A Brown Company (ABCI) 社は、2024 年 8 月 30 日、子会社 Vires Energy (VEC) 社が自国エネルギー省 (DOE) にバタンガス Barangay Simlong での LNG 基地・気化設備推進計画の撤回を通知したことを明らかにした。VEC 社は LNG 基地建設を見送り、第三者アクセス (TPA) 方式を採用する。

シンガポール Sembcorp Industries 社は、2024 年 9 月 2 日、子会社 Sembcorp Gas 社が West Natuna Exploration 社、Empyrean Energy 社、Coro Energy Duyung (Singapore) 社との間で、日量 111 bBtus のパイプラインガス (LNG 換算年間 78.5 万トン相当) をインドネシア Mako ガス田から輸入するガス売買契約 (GSA) を締結したことを発表した。

タイ PTT 社は、2024 年 9 月 12 日、PTT International Trading (PTIT) 社がオマーン Oman LNG 社と初めて長期 LNG 購入契約を締結したことを発表した。PTT 社は、2024 年 9 月 16 日、PTT International Trading (PTIT) 社がブルネイ Brunei LNG 社と、初めて長期 LNG 購入契約を締結したことを発表した。契約期間は 2025 年から 2029 年となる。

Excelerate Energy 社、ベトナム PetroVietnam 子会社 PetroVietnam Technical Services (PTSC) 社は、2024 年 9 月 23 日、ベトナム向け LNG 輸入に関して FSRU に基づくソリューション共同検討の戦略的パートナーシップ協定を発表した。

Petrovietnam Gas (PV GAS) 社は、2024 年 9 月 6 日、南部から北部への列車による LNG 輸送開始を祝賀したことを発表した。

PetroVietnam Gas (PV Gas) 社は、2024 年 9 月 24 日、10 月 25 日までの間にできるだけ早期に Thị Vải LNG 輸入基地向けにスポット LNG カーゴ 1 件を引き渡す LNG 調達入札を公表した。

三菱商事株式会社とマレーシア Petronas (Petroleum Nasional Berhad) 社は、2024 年 9 月 27 日、前者の MLNG Dua 事業での 10% 権益延長、MLNG Tiga 事業への 10% 再参入につき、合意に至ったことを発表した。

インドネシアのエネルギー・鉱物資源省 (ESDM)、同国議会下院第 VII 委員会は、2024 年 9 月 6 日、国家エネルギー計画に関する政府規制案 (RPP KEN) を承認した。

スリランカ PMD (大統領報道部) は、2024 年 8 月 28 日、自国初の天然ガス火力発電設備 'Sobadhanavi' 稼働開始を発表した。

豪 Santos 社は、2024 年 9 月 4 日、Glencore Singapore 社との中期 LNG 供給契約を発表した。3 年プラス 1 四半期の期間で、合計 19 カーゴ、年間 50 万トンを供給する。2025 年第 4 四半期開始で、Santos 社グローバルポートフォリオより DES (持ち届け ex-ship) 条件で引き渡す。

豪 Woodside Energy 社は、2024 年 9 月 18 日、JERA との間で日本向け LNG 長期供給に関する SPA (売買契約) を発表した。Woodside 社は、年間 40 万トン (6 カーゴ) の LNG を 10 年間、DES (持ち届け) 条件で 2026 年 4 月より引き渡す。本 SPA 下で JERA に引き渡す LNG は Woodside 社グローバルポートフォリオから調達される。本契約締結は、2 月 Woodside 社が JERA に Scarborough 合併事業の参加権 15.1% 売却する合意に達した発表に続くものである。

豪 Santos 社は、2024 年 9 月 17 日、同 2 日の発表を受けて Bayu-Undan Joint Venture (BUJV) 参加企業と東ティモール TIMOR GAP 社が、Bayu-Undan 上流プロジェクトの 16% 持分を TIMOR GAP に同年 7 月 1 日発効で移管する売買合意 (SPD) を締結したことを発表した。TIMOR GAP 社は BUJV に、残りの経済的生産期間中、参加する。Bayu-Undan 生産分与契約 (PSC) は、2026 年 6 月 26 日、または生産終了のいずれか早い方で終了する。Bayu-Undan 上流プロジェクトは、沖合油・ガス田、東ティモール領内の沖合生産・処理設備で構成される。Bayu-Undan はノーザンテリトリー電力・水道公社とのガ

ス販売契約に基づき、豪州国内市場向けにガスを、また液体製品を生産している。 Santos 社は、 Bayu-Undan を生産終了後は新規大規模コマーシャルベースの CCS プロジェクトに改造すべく、東ティモール、合弁事業との作業を引き続き実施していくとしている。

[北米]

TotalEnergies 社は、2024 年 9 月 27 日、Lewis Energy 社と、同社が米テキサス州 Eagle Ford 盆地に所有・操業するドライガス生産資産の 45%持分を取得する契約を締結したことを発表した。

Shell 社は、2024 年 8 月 31 日、自社 LNG バンカリングバージ Progress がサバンナ港で最初のバンカリングを完了したことを発表した。 Elba LNG 液化設備がこれらの作業に関わる LNG を生産した。

Golden Pass LNG Terminal (GPLNG) 社は、2024 年 8 月 28 日、輸出プロジェクト設備の稼働開始の 2026 年 11 月 30 日期限をさらに 2029 年 11 月まで延長する申請を FERC (米連邦エネルギー規制委員会) に提出した。 GPLNG 社は、2024 年 8 月 28 日、DOE/FECM (米連邦エネルギー省化石燃料カーボンマネジメント局) に、FTA・非 FTA 承認 LNG 輸出開始期限の 2027 年 3 月 31 日まで 18 ヶ月間の延長を申請した。

FERC (米連邦エネルギー規制委員会) は、2024 年 9 月 6 日、Venture Global LNG 社に対して、ルイジアナ州 Plaquemines 輸出設備の LNG 機器のスタートアップ準備作業開始を承認した。

NextDecade 社は、2024 年 9 月 11 日、自社 Rio Grande LNG 輸出プロジェクトが、FERC (米連邦エネルギー規制委員会) による承認を無効とする法定判断に上訴する期限を、10 月 21 日まで延長することを認められたことを明らかにした。 DC 地区控訴審による 8 月 6 日の判断は、既に建設中の LNG プロジェクトの主要許可を無効とする史上初めての連邦法定判断となった。

FERC (米連邦エネルギー規制委員会) は、2024 年 9 月 13 日、「Rio Grande LNG 設備・Rio Bravo パイプラインプロジェクト向け追加環境影響評価書 (EIS) 準備通知」を発行、この中に、8 月に DC 地区連邦控訴審が手続き上の理由で FERC 承認を無効としたことを受けての追加環境影響評価書 (EIS) 完成への日程を含んでいる。 FERC は EIS 案を 2025 年 3 月発表目標として、45 日間の一般コメント期間を置き、最終案を 2025 年 7 月 31 日公表としている。これにより 90 日間の連邦承認判断期限を 2025 年 10 月 29 日として、同プロジェクト最終指令発行期限を 2025 年 11 月 20 日としている。

エンジニアリング企業 KBR 社、Technip Energies 社は、2024 年 9 月 19 日、両社の KTJV 合弁事業体が、米 Energy Transfer 社子会社 Lake Charles LNG 輸出会社より、Lake Charles LNG 改造プロジェクトに選定されたことをそれぞれ発表した。 KTJV は、EPC (エンジニアリング・調達・建設管理・建設・コミッションング・スタートアップ・他関連業務) を、Lake Charles LNG による同プロジェクト推進通知発行決定を条件として遂行するこ

となる。同プロジェクトは、Energy Transfer 社既存輸入設備を、LNG 輸出設備に改造する。この改造は、液化設備 3 系列、既存貯蔵・棧橋設備改造により、年間 1645 万トンの LNG 輸出を可能とする。

Glenfarne Energy Transition 社子会社 Texas LNG Brownsville 社は、2024 年 9 月 11 日、ある LNG 企業と、さらに 1 件長期 LNG SPA (売買契約) に向けた HOA (基本合意) を締結したことを発表した。Texas LNG 社は、FID (最終投資決定) 実現に十分な数量の買主コミットメントを確保したとしている。今回の新合意は、EQT 社、Gunvor 社、Macquarie 社との既存の合意に上乘せとなる。

FERC (米連邦エネルギー規制委員会) は、2024 年 9 月 13 日、「Texas LNG パイプラインプロジェクト向け追加環境影響評価書 (EIS) 準備、環境問題コメント募集、環境審査日程通知」を発行、この中に、8 月に DC 地区連邦控訴審が手続き上の理由で FERC 承認を無効としたことを受けての追加環境影響評価書 (EIS) 完成への日程を含んでいる。FERC は EIS 案を 2025 年 3 月発表目標として、45 日間の一般コメント期間を置き、最終案を 2025 年 7 月 31 日公表としている。これにより 90 日間の連邦承認判断期限を 2025 年 10 月 29 日として、同プロジェクト最終指令発行期限を 2025 年 11 月 20 日としている。

Kimmeridge Texas Gas (KTG) 社、Commonwealth LNG 社は、2024 年 9 月 19 日、Glencore 社と基本合意を締結したことを発表した。Glencore 社は年間 200 万トンの LNG を 20 年間、Commonwealth 社から、等量の天然ガス供給を KTG 社から国際価格ネットバック契約の下購入する。Commonwealth 社はルイジアナ州キャメロン郡 LNG 輸出設備の FID (最終投資決定) を 2025 年前半、LNG 生産開始を 2028 年に期待している。

Marathon Oil 社は、2024 年 8 月 29 日、ConocoPhillips 社との統合に、株主承認を得たことを発表した。

米天然ガス生産大手 Chesapeake Energy 社、Southwestern Energy 社は、2024 年 9 月 26 日、1976 年 Hart-Scott-Rodino 反トラスト改善法 (HSR 法) による合併計画待機期間が満了になったことを発表した。両社は 10 月第 1 週の合併完了を期待している。合併とともに米国最大の天然ガス生産企業となり、Expand Energy 社と新名称する。

MiQ は、2024 年 9 月 18 日、EQT 社、ドイツ Uniper 社と、試験的取引のため提携したことを発表した。このコンセプト証明用取引は、EQT 社が LNG で 1 カargo 相当の独立認証付き天然ガスを、Uniper 社向けに供給することに合意する。EQT 社生産の大多数は、MiQ メタン基準により認証されている。

アブダビ ADNOC 社は、2024 年 9 月 4 日、ExxonMobil 社のテキサス州ベイトウン低カーボン水素・アンモニア製造設備計画の 35% 出資契約を発表した。同設備は 98% 二酸化炭素 (CO₂) を除去する低カーボン水素日量 1 bcf、低カーボンアンモニア年間 100 万トン以上を生産する見込み。FID (最終投資決定) 2025 年、稼働開始 2029 年を見込んでいる。

三菱商事株式会社は、2024 年 9 月 13 日、ExxonMobil 社が米国テキサス州・ベイトウンで推進するクリーン水素・アンモニア製造プロジェクトへの参画、ならびにアンモニアの

引き取りについて、共同検討を実施する契約を同社と締結したことを発表した。

LNG Canada による、2024 年 9 月 12 日のアップデートによると、全体として建設は 95% 以上を完了、引き続き 2025 年半ばのカーゴ出荷開始に向けて予定通り進んでいる。

カナダのブリティッシュコロンビア州環境・気候変動戦略部は、2024 年 9 月 12 日、環境評価課 (EAO) が、同月 11 日に Coastal GasLink Pipeline (CGL) 社に対して、環境評価証明書の要件に違反したとして、総額 590,000 カナダドルの 10 件の罰則金を科したことを発表した。

カナダの LNG 海運企業 Seapeak 社は、2024 年 9 月 16 日、OGMP 2.0 (Oil and Gas Methane Partnership 2.0) 加盟を発表した。

DOE/FECM (米連邦エネルギー省化石エネルギー・カーボンマネジメント局) は、2024 年 8 月 31 日、NFE Altamira FLNG 社による申請の非 FTA 部分に関して、年間 145 Bcf、日量 0.40 Bcf 全量で許可した。DOE は、NFE Altamira 社が 2050 年 12 月までの輸出期間を要請したにも関わらず、2024 年 8 月 31 日から 2029 年 8 月 30 日の 5 年間の輸出期間を承認したことを指摘した。DOE は今回許可指令の日付から 2 年経過して以降の NFE Altamira 社による指令の改正申請に基づき輸出期間を再検討する、と述べた。DOE は今回の許可指令により本土 48 州から LNG 非 FTA 輸出累計承認量が日量 46.45 Bcf となる、と述べた。この累計量には米国産天然ガスでメキシコ、カナダから LNG として再輸出することを承認された日量 6.71 Bcf を含む。New Fortress Energy (NFE) 社は、9 月 3 日、DOE から、最大年間 140 万トンの LNG を、非自由貿易諸国向けに、メキシコ アルタミラ沖 Fast LNG 1 (FLNG 1) 設備より、5 年間輸出する承認を受けたことを発表した。

メキシコ太平洋岸 Saguaro Energía LNG 設備、附帯する Sierra Madre パイプラインの所有者 Mexico Pacific 社は、2024 年 8 月 28 日、SPA (売買契約) を韓国 POSCO International 社と締結したことを発表した。POSCO International 社は年間 70 万トンの LNG を FOB (本船渡し) 条件で 20 年間購入する。メキシコのソノラ州プエルトリベルタッド Saguaro Energía LNG 設備第 1 段階は、液化系列 3 本、随伴インフラストラクチャーにて構成されることとなる。同 LNG 設備は米テキサス州 Permian 盆地からの天然ガスを活用する。

シンガポール LNG Alliance 社は、2024 年 8 月 30 日、子会社メキシコ AMIGO LNG 社が同国ソノラ州グアイマスでの液化設備より LNG を供給することでオマーン OQ Trading と HOA (基本合意) を締結したことを発表した。

DOE (米連邦エネルギー省) EFCM (化石燃料・カーボンマネジメント局) は、2024 年 8 月 27 日、Gato Negro Permitted Uno 社により 5 月 10 日に申請が提出された、と述べた。この申請では、米国産天然ガスをパイプラインでメキシコ向けに最大年間 236 Bcf (日量 0.647 Bcf) 輸出、この内年間 203 Bcf (日量 0.556 Bcf) を LNG として米国の自由貿易協定 (FTA) 諸国に再輸出することに長期承認を求めている。Gato 社は計画中のメキシコのコリマ州マンサニーヨ Gato Negro Manzanillo LNG 設備より再輸出することを検討している。

【中東】

アブダビ ADNOC 社は、2024 年 9 月 10 日、長期 HoA(基本合意) を、インド Indian Oil (IndianOil) 社と、100 万トンの LNG について締結したことを発表した。この LNG は主として Ruwais LNG プロジェクトから調達されることとなる。同プロジェクトは 2028 年本格稼働開始が見込まれる。今回の 15 年間合意に基づき、LNG カーゴはインド国内の IndianOil 社仕向け先港湾に向けて出荷される。2029 年までに IndianOil 社は ADNOC 社にとって最大の LNG 買主になる見込みである。引き取りは Das Island から年間 120 万トン、Ruwais LNG から年間 100 万トンの合計年間 220 万トンとなる。

カタール QatarEnergy 社は、2024 年 9 月 1 日、新規太陽光発電プロジェクト計画を発表した。Dukhan 地域で発電容量 2,000 MW、2030 年までに建設する。QatarEnergy 社は、2024 年 9 月 1 日、新規尿素製造設備建設決定を発表した。Mesaieed 工業都市の新規尿素製造設備 4 系列に原料供給するアンモニア製造 3 ラインの建設を含む。

カタール QatarEnergy 社は、2024 年 9 月 9 日、中国 CSSC(中国船舶集团有限公司) 社との間で、QC-Max 輸送船舶追加 6 隻建造の契約を締結したことを発表した。これにより船団拡張計画での発注済み LNG 輸送船舶総数は 128 隻となり、24 隻の QC-Max 船舶が含まれる。これら QC-Max 船舶は中国 Hudong-Zhonghua (沪东中华造船(集团)有限公司) 造船所で建造されることとなる。史上建造された最大 LNG 輸送船舶として、容量は各 271,000 m³である。引き渡しは 2028 年から 2031 年を予定している。

イタリアのエンジニアリング企業 Saipem 社は、2024 年 9 月 15 日、カタール QatarEnergy LNG 社より、North Field ガス田生産持続圧送プログラム中、COMP3A・COMP3B について洋上業務の EPC 契約を受注したことを発表した。

オマーンのエネルギー・鉱物省は、2024 年 9 月 1 日、MB Group 傘下の Petrogas E&P 子会社 Mazoon Petrogas、CNPC(中国石油天然气集团公司(中国石油集团))との間で、第 15 鉱区について新規の探査・生産分与契約 (EPSA) を締結したことを発表した。Daleel Petroleum (オペレーター) が 1,389 km² の区域で探査・開発に従事する権利を得る。

シンガポール BW LNG 社は、2024 年 9 月 5 日、ヨルダン National Electric Power Company (NEPCO) 社と、FSU(浮体貯蔵設備) 配備に向け 10 年間の備船契約を発表した。アカバ港 Sheikh Sabah LNG 基地に 10 年間繫留予定となる。当該 LNG 輸送船舶はこの備船に先立ち FSU 改造工事を実施、2026 年第 3-4 四半期に稼働開始見込みとしている。

【アフリカ】

オランダ Dixstone 社は、2024 年 9 月 26 日、西アフリカのガボン Cap Lopez での LNG プロジェクト建設・調達・統合化契約を受注したことを明らかにした。同プロジェクトはニアショア LNG 設備で、LNG 年間 70 万トン、LPG 年間 25,000 トンを生産する (第 1 段階)。Dixstone 社はドバイで液化バージを建造する計画である。

TotalEnergies 社は、2024 年 9 月 26 日、デジタルメディア Politico にて、2021 年 6 -

11 月、モザンビーク北部 Mozambique LNG 現場 Afungi 近くで同国兵士が実行したされる殺人に関する記事で描写されている事態に関して、同記事の著者からコンタクトされるまで、自社は何も情報を受けていなかった、と述べた。

日揮ホールディングス株式会社 Technip Energies 社は、2024 年 9 月 25 日、日揮グローバル株式会社・Technip Energies 社が共同で、ExxonMobil 社、ENI 社、CNPC 社で構成される事業会社 Mozambique Rovuma Venture (MRV) 社がモザンビーク国カボ・デルカド州で計画している年間 1800 万トン LNG プラントに係る FEED (基本設計)、設計・調達・建設工事 (EPC) に係る見積役務を受注したことを発表した。本 LNG プラントでは、原料である天然ガスを圧縮するコンプレッサーの駆動に関し、従来のガスタービンを使用するのではなく、電動モーターによる「E-Drive」の採用、標準化モジュール建造し現場で組み立てる方式を予定している。

ARA Petroleum 社は、2024 年 9 月 16 日、タンザニア Ntorya ガス田に関して 25 年間の開発ライセンスを受けたことを発表した。

南アフリカ Eskom 社、Sasol 社は、2024 年 9 月 20 日、LNG 需要評価のための MoU (覚書) を締結した。

[欧州・周辺地域]

"The future of European competitiveness: Report by Mario Draghi" 報告書が、2024 年 9 月 9 日に欧州委員会より公表され、ガス市場に関する提言を含んでいる。

フィンランド Gasum 社は、2024 年 9 月 2 日、Hapag-Lloyd 社のコンテナ船舶に液化バイオメタン (バイオ LNG) を、2 年間の入札対象期間に供給することで協力する、と述べた。世界最大級のコンテナ船舶運航会社 Hapag-Lloyd 社は、温室効果ガス排出を 90%以上削減する廃棄物ベースのバイオ LNG による外航海運で、ゼロ排出海運買主連合 (ZEMBA) 最初の取り組みを落札した。

ドイツ Deutsche ReGas 社は、2024 年 9 月 3 日、ムクラン工業港 "Deutsche Ostsee" 基地が 2 日に通常営業を開始したことを発表した。LNG 輸送船舶 HELLAS DIANA が 8 月最終週荷揚げを行った。同社は 2 隻の相互接続した FSRUs への「世界初」同時引き渡しだった、と述べた。民間資金により建設された基地であり、貯蔵容量は LNG 300,000 m³ 超で、定常容量時間当たり 16 GWh とドイツの LNG 基地中最大の注入地点であるとしている。

ドイツ Deutsche ReGas 社は、2024 年 9 月 12 日、H₂-Hub Lubmin の FEED (基本設計) 段階が完了したことを発表した。

ドイツ Uniper 社は、2024 年 9 月 19 日、ConocoPhillips 社と今後 10 年間で最大 10 bcm の天然ガス供給により、長期的パートナーシップを拡大することを発表した。ConocoPhillips 社は Uniper 向けに、既存のパイプラインガス、拡張する LNG でのポジションを活用して、北西欧で天然ガスを供給する。

bp 社、Iberdrola 社は、2024 年 9 月 12 日、bp の Castellón 精製設備に 2026 年後半稼

働開始見込みの 25 MW グリーン水素プロジェクトの FID (最終投資決定) を発表した。

ブルガリア Bulgargaz 社は、2024 年 8 月 29 日、合計 5 カーゴの LNG を求める DES 購入入札 3 件を発表した。引き渡しは 10 月 4 日、11 月 25 - 30 日・12 月 23 - 30 日、1 月 24 - 31 日・2 月 21 - 28 日としている。引き渡し地点はギリシャ FSRU Alexandroupolis またはトルコの LNG 基地のひとつとしている。提示価格は、引き渡し時期に該当する TTF 翌月渡し (Argus) または TTF MA (ICIS) 参照の MWh 当たりユーロで、引き渡しコスト全て含めてのものとしている。

米 Venture Global LNG 社は、2024 年 9 月 17 日、GASTRADE 社と拘束力ある長期基地利用契約 (TUA) 締結を発表した。Venture Global 社は、年間 100 万トンの LNG 気化容量をギリシャ新規 Alexandroupolis LNG 気化基地で、2025 年より 5 年間確保した。

NewMed Energy 社は、2024 年 9 月 1 日、キプロス共和国 EEZ (排他的経済水域) 内第 12 鉱区の既承認済み Aphrodite ガス田開発生産計画について、8 月 30 日に同ガス田パートナーが、計画アップデート案を同国政府に承認を求め提出したことを発表した。

Shell 社は、2024 年 9 月 2 日、Shell International Trading Middle East 社・トルコ BOTAŞ (Boru Hatları ile Petrol Taşıma AŞ) 社間で、Shell より BOTAŞ 社向けに年間最大 4 bcm (300 万トン) の LNG を、米国・グローバルポートフォリオより供給、2027 年引き渡し開始の 10 年間の契約を締結したことを発表した。BOTAŞ 社、TotalEnergies 社は、9 月 18 日、2027 年から年間 16 LNG カーゴ (110 万トン、1.6 bcm) の 10 年間の HoA (基本合意) を発表した。

ロシア統計機関 Rosstat の 2024 年 9 月 25 日付データによると、同国 1-8 月の LNG 生産量は 2240 万トンと前年同期比 7.3%増となった。

ロシア Gazprom 社は、2024 年 8 月 29 日、同年上半期 IFRS 会計基準 (国際財務報告基準) に基づく財務諸表を公表した。EBITDA (利払い前・税引き前・減価償却前利益) は 1.459 兆ルーブルと、前年同期比 19%増となった。

米連邦財務省外国資産管理局 (OFAC) は、2024 年 9 月 5 日、さらに 2 隻の LNG 輸送船舶を制裁リストに追加した。英国政府 (外務省) は、9 月 26 日、Arctic LNG 2 プロジェクトなどのロシア産 LNG 出荷に関わる 5 隻、2 社に制裁対象としたことを発表した。

ロシア NOVATEK 社による、2024 年 9 月 10 日の発表によると、自社は Arctic LNG 2 社の参加しているが、自社従業員は同プロジェクトに雇用されておらず、同プロジェクトによるオペレーション、コマーシャル上の活動全て、Arctic LNG 2 経営陣によってのみ管理されているものとのこと。メディアによりなされている主張、つまり NOVATEK 社がシャドウ船団の形成および運営、Arctic LNG 2 プロジェクトからの製品積み出しに、に関与しているとの主張は当てはまらず、事実に基づいたものでもないとのこと。

ロシア Gazprom 社は、2024 年 9 月 12 日、Power of Siberia ガスパイプラインの Kovyktinskoye ガス田 (イルクーツクガス生産拠点) から Chayandinskoye ガス田 (ヤクーチヤガス生産拠点) 区間に新たなコンプレッサーステーションを稼働開始する、と述べた。

Kovyktinskoye ガス田では、3 件目のガス処理設備の建設は大詰めにあり、2024 年末までに稼働開始見込み、と同社は述べた。Gazprom 社は、9 月 20 日、中国 CNPC 社との間で、Power of Siberia パイプライン経由での中国向けガスの日量ベースでの引き渡し量を、従来の予定より先行して最大契約水準に高めることに合意したことを発表した。

【南米】

パナマ運河に関して、LNG、LPG 輸送船舶を対象として、初めての長期枠競売手続き (LoTSA) により、2025 年のアクセスについて、各 24 通航枠の 6 パッケージが 9 月 9 日、各 12 通航枠の 18 パッケージが同 11 日、各々競売が実施された。LoTSA は、LNG 輸送船舶をもっと勧誘することも考慮して設計された。パナマ運河当局は、より高い札を入れた顧客が通航日選定の優先権を持つ、と述べた。

EIG 社傘下の LNG 企業 MidOcean Energy 社は、2024 年 9 月 16 日、MidOcean Energy 社・Hunt Oil 社が、MidOcean 社がペルー Peru LNG における追加 15%持分を Hunt 社から買い取る契約を締結したことを発表した。MidOcean 社の PLNG 持分が 20%から 35%に増加する。取引は Aramco 社が全資金を提供するもので、同社は MidOcean 社における持分を 49%に増加する。Aramco 社の PLNG 間接持分は 17.2%となる。EIG 社・Aramco 社に加え三菱商事も MidOcean 社への出資者である。Hunt 社の PLNG への持分は 50%から 35%に減少し、Hunt 社は今回の取引後も PLNG オペレーターを継続する。Hunt 社は引き続き Camisea 上流プロジェクト 25.2%持分を維持する。

【グローバル】

Höegh LNG 社は、2024 年 9 月 16 日、新名称 Höegh Evi を発表した。"energy vector infrastructure" に由来する。

Golar LNG 社は、2024 年 9 月 18 日、CIMC Raffles 社と、MK II FLNG (浮体 LNG 生産) 船舶 1 隻、年間液化容量年間 350 万トンについて、EPC (エンジニアリング・調達・建造) 契約を締結したことを発表した。MK II FLNG は 2027 年第 4 四半期引き渡し見込み。

Wärtsilä 社は、2024 年 9 月 19 日、Chevron Shipping 社と組んで、Chevron Transport 社の LNG 輸送船舶 6 隻のエンジン 1 基を、二元燃料 (DF) からスパークガス (SG) 方式に転換する計画であることを発表した。

Excelerate Energy 社、Wärtsilä 社は、2024 年 9 月 19 日、Excelerate Energy ・ Wärtsilä Gas Solutions 間の、再液化システム (Compact Reliq Double unit) を、Excelerate 社の FSRUs (浮体貯蔵・気化設備) 搭載に向けた提供への合意を発表した。

参考資料: 各社発表

お問い合わせ: report@tky.ieej.or.jp